新潟大學
NIIGATA UNIVERSITY

令和６年 10 月入学

令和７年　４月入学

新潟大学大学院医歯学総合研究科
医 科 学 専 攻 （ 修 士 課 程 ）

Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences

Master Course for Biomedical Sciences

学 生 募 集 要 項

【一 般 選 抜】

第１次募集：令和６年 10 月入学
令和７年　４月入学
第２次募集：令和７年　４月入学
第３次募集：令和７年　４月入学

新潟大学大学院医歯学総合研究科

〒951-8510
新潟市中央区旭町通１番町 757 番地
新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係
電話　（025）227-2015
E-mail　medgakum@med.niigata-u.ac.jp

選抜日程

	令和６年10月入学	令和７年４月入学 ＜第１次募集＞	令和７年４月入学 ＜第２次募集＞	令和７年４月入学 ＜第３次募集＞
出願資格確認・審査申請期限（該当者のみ）	令和６年 ６月５日（水）～ ６月14日（金） 【必着】	令和６年 ６月５日（水）～ ６月14日（金） 【必着】	令和６年 ９月４日（水）～ ９月13日（金） 【必着】	令和６年 11月６日（水）～ 11月15日（金） 【必着】
出願手続期間	令和６年 ７月８日（月）～ ７月12日（金） 【必着】	令和６年 ７月８日（月）～ ７月12日（金） 【必着】	令和６年 10月７日（月）～ 10月11日（金） 【必着】	令和６年 12月17日（火）～ 12月23日（月） 【必着】
試験日	令和６年 ８月16日（金）	令和６年 ８月16日（金）	令和６年 11月７日（木）	令和７年 １月21日（火）
合格発表	令和６年 ９月12日（木）	令和６年 ９月12日（木）	令和６年 12月17日（火）	令和７年 ３月13日（木）
入学手続期間	令和６年 ９月18日（水）～ ９月20日（金）	令和７年 ２月26日（水）～ ２月28日（金）	令和７年 ２月26日（水）～ ２月28日（金）	令和７年 ３月18日（火）～ ３月19日（水）

新潟大学志願者への入学検定料免除について

新潟大学では，災害等の被災者の経済的負担を軽減し，進学機会の確保を図るため，入学検定料免除の特別措置を行います。

免除の対象となる災害及び被災地域など，免除に関する詳細については，新潟大学ホームページの「受験生特設サイト」をご覧ください。

〇受験生特設サイト：　https://www.niigata-u.ac.jp/examinee/

入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

(1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名，住所その他の個人情報については，①入学者選抜（出願処理，選抜実施），②合格発表，③入学手続，④入学者選抜方法等における調査・研究，分析及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は，入学者選抜方法等における調査・研究，分析を行うために利用します。

(3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は，合格者のみ入学後の①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），③授業料等に関する業務を行うために利用します。

なお，個人情報のうち，合格者の氏名及び住所については，本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

目　　次

Ⅰ.《第１次募集》令和６年10月入学・一般選抜

１．　専攻及び募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
２．　出願資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
３．　出願手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
４．　選抜方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
５．　出願資格の確認又は審査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
６．　入学手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
７．　その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

Ⅱ.《第１次募集》,《第２次募集》,《第３次募集》令和７年４月入学・一般選抜

１．　専攻及び募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
２．　出願資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
３．　出願手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
４．　選抜方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
５．　出願資格の確認又は審査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
６．　入学手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　11
７．　その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

Ⅲ．For International Students・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13

Ⅳ．新潟大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）案内・・・・・・・・・・・・・　23

Ⅴ．本研究科所定用紙（出願書類等）

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

［教育理念・目標］

理念

大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）は，生命科学や技術の著しい進歩，多様化する医療課題，ニーズに対応するため，先端生命科学についての教育・研究に重点を置くとともに，幅広いフィールドとの学際的研究を推進し，その成果を医療の発展に活かし，地域社会と世界の医療に貢献できる人材を育成することを理念とします。

目標

１．先端生命科学を担う研究者の育成を図ります。
２．疾病の診断・治療に役立つ研究者の育成を図ります。
３．高度医療・保健指導を担当できる高度専門職業人の育成を図ります。
４．医学，医療関連分野で指導的立場となる高度専門職業人の育成を図ります。
５．社会人入学制度により，生涯教育を充実・普及させます。

［教育内容・特色］

１．解剖学，生化学，生理学，免疫学，再生医学などの基礎医学，法医学，衛生学などの社会医学，病理学，最新の臨床医学のトピックなど，医学，医療全般を網羅した魅力ある講義カリキュラム
２．医歯学総合研究科，医歯学総合病院，脳研究所に所属する教員による充実した指導体制
３．入学者の希望する進路（博士課程進学希望者，高度専門職業人を志望する人など）に対応した教育，研究指導
４．入学者の経歴に対応した学際的教育，研究指導
５．社会人入学者に対応したカリキュラム
６．多様な医療課題に柔軟に対応した高度専門職業人育成プログラム
（学会認定資格等を取得するための教育プログラム）

［求める学生像］

医科学専攻において，多様化する医療課題，ニーズに対応し，医学，医療，生命科学分野の教育・研究に貢献できる高度専門職業人，研究者，教育者を養成するために，以下のような資質・能力を有する学生を求めます。

１．出身学部は問わないが，大学卒業相当の基礎的学力を有している人。
２．生命科学研究に必要な基礎的英語能力を有している人。
３．医学・医療，また，その関連分野で，研究者や高度専門職業人として社会に貢献できる人。
４．志望する教育研究分野を理解し，研究に対する意欲を持つ人。
５．自ら研究課題を開拓し独創的な研究を遂行したい人，研究による成果をもとに世界の医療に貢献できる人。
６．研究者，高度専門職業人の育成に貢献できる人。
７．社会人で各種産業界における人材育成に強い意欲を持つ人。
８．外国人留学生で，自国における人材育成に強い意欲を持つ人。

［入学者選抜の基本方針］

一般選抜

志望する教育研究分野に対する高い理解度を持ち，研究に必要な語学力を有する学生を以下の方

法により選抜します。

１．学力検査は，外国語（英語）を課し，基礎的学力を評価します。

２．面接は，教育研究分野に対する理解度，研究に対する意欲，研究計画，大学院修了後のビジョンについて評価します。

Ⅰ．　第　１　次　募　集

令和６年10月入学

一　般　選　抜

○　令和６年10月入学　新潟大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）の学生を，次のとおり募集します。

１．専攻及び募集人員

医科学専攻（修士課程）　　若干人

（注）出願に際しては，あらかじめ志望する教育研究分野の担当教員に問い合わせてください。
問い合わせ先のＥメールアドレス，電話番号は教育研究分野一覧を参照してください。

２．出　願　資　格

次のいずれかに該当する者

（１）学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学（修業年限４年以上）を卒業した者及び令和６年９月までに卒業見込みの者

（２）学校教育法第104条第７項の規定により学士の学位を授与された者及び令和６年９月までに授与される見込みの者

（３）外国において，学校教育における16年の課程を修了した者及び令和６年９月までに修了見込みの者

（４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和６年９月までに修了見込みの者

（５）我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

（６）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が３年以上ある課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和６年９月までに授与される見込みの者

（７）専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和６年９月までに修了見込みの者

（８）文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第５号）

（９）学校教育法第102条第２項の規定により大学院に入学した者であって，当該者をその後に本研究科において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

（10）令和６年９月30日までに学校教育法第83条に定める大学に３年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって，本研究科が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

（11）本研究科において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和６年９月30日までに22歳に達するもの

注１．出願資格（３），（４），（６）又は（９）～（11）のいずれかに該当する者は，個別に資格確認又は審査を行うので，４ページの「５．出願資格の確認又は審査」を参照の上，申請受付期間に申請書類を提出してください。

注２．障がいを有する者で，受験上及び修学上の配慮を希望する者は，令和６年６月14日（金）までに入試・臨床実習係に相談してください。

注３．試験当日のマスク着用は任意となります。但し，咳などの体調不良の症状がある場合はマスクの着用をお願いします。マスクを着用している場合，本人確認時は試験官の指示に従い

マスクを外していただく場合があります。

３．出　願　手　続

（１）出願手続期間

令和６年７月８日（月）～7月12日（金）（必着）

〈持参の場合〉受付時間は，午前８時30分から午後５時まで。

〈郵送（書留速達に限る）の場合〉出願期間内に必着とします。

（２）出願書類等（①②⑤⑨⑩⑪は，本要項に添付の所定用紙を使用してください。）

①入　学　志　願　票	裏面（履歴書）も必ず記入してください。なお，**「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」**を所定欄に確実に貼ってください。**（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）**
②受 験 票 ・ 写 真 票	写真（出願日前３か月以内に撮影した，縦４㎝×横３㎝，上半身，無帽，正面向きのもので，受験時に眼鏡を使用する者は，眼鏡をかけて撮影してください）をそれぞれに貼ってください。
③卒　業　証　明　書 又は卒業見込証明書	出身大学（学部）長が作成したものとします。
④成　績　証　明　書	出身大学（学部）長が作成し厳封したものとします。 大学院研究科修士（博士前期）課程修了者は，学部在籍時の成績証明書を提出してください。
⑤志　望　理　由　書	必要事項を記入してください。
⑥在留カードの写し又は パスポートの写し	在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし，渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。
⑦学 位 授 与 証 明 書 ※該当者のみ	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出してください。
⑧短期大学又は高等専門学校の専攻科の修了（見込み）証明書及び学士の学位授与申請書の受理証明書（又は学士の学位授与を大学改革支援・学位授与機構に申請予定である旨の証明書） ※該当者のみ	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者は，提出してください。（１ページの「２．出願資格」（２）の，授与される見込みの者） 専攻科の修了（見込み）証明書及び学位授与申請予定の証明書は，出身（在籍）短期大学長又は高等専門学校長が作成したものを提出してください。 学位授与申請書の受理証明書は，大学改革支援・学位授与機構が証明したものを提出してください。
⑨返　信　用　封　筒	封筒には，志願者の郵便番号，住所及び氏名を記入してください。 「受験票在中」の小封筒には郵便切手354円分を貼ってください。 「合格通知書在中」の小封筒及び「入学手続書類在中」の大封筒には郵便切手を貼る必要はありません。 ※郵便料金に変更があった際は，適正な金額の郵便切手を貼ってください。
⑩検　　定　　料 30,000円	本要項に添付の**「振込依頼書（新潟大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」**に必要事項を記入し，以下の点に留意のうえ，切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し，窓口で所定の検定料を振り

	込んでください。その際，**必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。** なお，振込手数料は，志願者本人の負担となります。 ① 依頼人氏名欄は，必ず志願者本人の氏名を記入してください。 ② 検定料の振込みは，令和６年７月１日（月）～７月 12 日（金）〔15 時 00 分〕までの期間内に必ず行ってください。 （※土・日曜日の振込みはできません。） ③ ＡＴＭ（現金自動預払機）での振込みはできません。
⑪検定料納付証明書 （新潟大学提出用）	**金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を入学志願票の所定欄に貼ってください。** （※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）

（３）出 願 方 法

上記①～⑨及び⑪の出願書類を郵送（書留速達）又は持参してください。

なお，郵送の場合は，本要項に添付の指定封筒（「大学院修士課程出願書類在中」）を使用してください。

（４）提　出　先　　新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係

（〒951－8510　新潟市中央区旭町通１番町 757 番地）

注１．提出後の出願書類の内容変更は認めません。

注２．既納の検定料及び出願書類は，返還しません。

ただし，検定料払込み後，出願期間内に出願書類を提出しなかった場合は，当該検定料（30,000 円）を返還します。

検定料の返還については，下記をご参照ください。

https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/return-fee/

なお，返還対象となった日から５年以内に返還の申し出がない場合は，返還請求を辞退したものとさせていただきます。

注３．卒業証明書等に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は，改氏名の事実を確認できる書類（戸籍抄本等・コピーでも可）を併せて提出してください。

注４．出願書類③及び④の証明書の印は，個人印・社印ではなく，大学長・学部長等の，職を表す印に限ります。

４．選　抜　方　法

入学者の選抜は，外国語科目，面接の結果及び出願書類を総合して行います。

（１）試 験 日 時

期　　日	時　　間	科　　目　　等
令和６年８月 16 日（金）	10:00 ～ 11：30	外国語（英　語） （辞書持ち込み可）
	13:00 ～	面接（第１志望）
	14:00 ～	面接（第２志望）

＊外国語（英語）は辞書（英和・和英・英英）の持ち込みを可とします。ただし，電子辞書及び医学辞書は不可とします。

（２）試　　験　　場

新潟大学医学部　（新潟市中央区旭町通１番町 757 番地）

（3）合　格　発　表

令和６年９月12日（木）午前10時

医学部医学科ホームページに合格者の受験番号を発表すると同時に，合格者には，合格通知書を郵送します。

なお，電話での合否に関する問い合わせには，一切応じません。

５．出願資格の確認又は審査

「２．出願資格（３），（４），（６）又は（９）～（11）」のいずれかに該当する者は，個別に資格確認又は審査を行うので，申請受付期間に申請書類を提出してください。

（1）申請受付期間

令和６年６月５日（水）～６月14日（金）

〈持参の場合〉受付時間は，午前８時30分から午後５時まで。土・日曜日の受付は行いません。

〈郵送の場合〉申請受付期間内に必着とします。

（2）「２．出願資格（３），（４）又は（９）～（11）」の申　請　書　類（①及び④の研究業績調書は，本要項に添付の所定用紙を使用してください。）

①出願資格確認・審査申請書	必要事項を記入してください。
②最終学歴に関する証明書	卒業（修了）証明書，成績証明書（短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科を卒業（修了）した者は，短期大学又は高等専門学校の卒業（修了）証明書，成績証明書を併せて提出してください。）
③最終学歴の学校に関する資料	入学資格，卒業（修了）要件，修業年限が記載されている資料（学則・規程，学生便覧等の写し）を提出してください。（出願資格（９）～（11）に該当する者のみ）
④その他学修・研究に関する資料	科目等履修生等で学修した者は，科目等履修生等の成績証明書等を提出してください。また，研究業績がある者は，研究業績調書及び論文の別刷又は写し等内容が確認できる資料を提出してください。（出願資格（９）～（11）に該当する者のみ）
⑤在学期間証明書又は退学証明書	中途退学者は，出身大学（学部）長が作成したものを提出してください。（出願資格（９）～（11）に該当する者のみ）
⑥在留カードの写し又はパスポートの写し	在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし，渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。
⑦返　信　用　封　筒	封筒（長形３号）に志願者の郵便番号，住所及び氏名を明記し，郵便切手354円分を貼ってください。 ※郵便料金に変更があった際は，適正な金額の郵便切手を貼ってください。

※「２．出願資格（６）」の申請書類は，入試・臨床実習係から指示しますので，「７．その他」の問い合わせ先に連絡してください。

（3）提　出　先　　新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係

（〒951－8510　新潟市中央区旭町通１番町757番地）

注１．提出後の申請書類の内容変更は認めません。また，申請書類は返還しません。

注２．外国語で記載された書類には，日本語の訳文を添付してください。

（４）出願資格の確認又は審査
確認又は審査は，提出された申請書類により行います。

（５）確認又は審査の結果通知
結果は，確認又は審査終了後すみやかに申請者宛に通知します。

６．入　学　手　続

入学手続期間：　**令和６年９月18日（水）～９月20日（金）**（必着）

郵送又は持参してください。郵送の場合は，書留速達とし，持参の場合は午前８時30分から午後５時までとします。

入学手続きに必要な提出書類等の詳細については，合格者に別途通知します。

７．そ　の　他

出願手続後，現住所又は連絡先に変更が生じた時は，すみやかに入試・臨床実習係に連絡してください。

＜問い合わせ先＞
〒951－8510　新潟市中央区旭町通１番町757番地
新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係
電話（025）227－2015

Ⅱ.　第　1　次　募　集
第　2　次　募　集
第　3　次　募　集

令和７年４月入学

一　般　選　抜

○　令和７年４月入学　新潟大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）の学生を，次のとおり募集します。

１．専攻及び募集人員

医科学専攻（修士課程）

第１次募集　20 人

第２次募集　若干人　※第１次募集で定員に達した場合は実施しない可能性があります。

第３次募集　若干人　※第１次募集又は第２次募集で定員に達した場合は実施しない可能性があります。

（注）出願に際しては，あらかじめ志望する教育研究分野の担当教員に問い合わせてください。
問い合わせ先のＥメールアドレス，電話番号は教育研究分野一覧を参照してください。
第２次募集,第３次募集の実施の有無については,以下のホームページをご確認ください。
〇新潟大学医学部医学科 HOME＞大学院志望の方へ＞修士課程案内
https://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/target/graduate_school/master_course/index.html

２．出　願　資　格

次のいずれかに該当する者

（１）学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 83 条に定める大学（修業年限４年以上）を卒業した者及び令和７年３月までに卒業見込みの者

（２）学校教育法第 104 条第７項の規定により学士の学位を授与された者及び令和７年３月までに授与される見込みの者

（３）外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和７年３月までに修了見込みの者

（４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和７年３月までに修了見込みの者

（５）我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

（６）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が３年以上ある課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和７年３月までに授与される見込みの者

（７）専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和７年３月までに修了見込みの者

（８）文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第５号）

（９）学校教育法第 102 条第２項の規定により大学院に入学した者であって，当該者をその後に本研究科において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(10) 令和７年３月 31 日までに学校教育法第 83 条に定める大学に３年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって，本研究科が定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

(11) 本研究科において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和７年３月 31 日までに 22 歳に達するもの

注１．出願資格（３），（４），（６）又は（９）～（11）のいずれかに該当する者は，個別に資格確認又は審査を行うので，10ページの「５．出願資格の確認又は審査」を参照の上，申請受付期間に申請書類を提出してください。

注２．障がいを有する者で，受験上及び修学上の配慮を希望する者は，下記期日までに入試・臨床実習係に相談してください。

注３．試験当日のマスク着用は任意となります。但し，咳などの体調不良の症状がある場合はマスクの着用をお願いします。マスクを着用している場合，本人確認時は試験官の指示に従いマスクを外していただく場合があります。

第１次募集	令和６年６月14日（金）
第２次募集	令和６年９月13日（金）
第３次募集	令和６年11月15日（金）

３．出　願　手　続

（１）出願手続期間

第１次募集	令和６年７月８日（月）～７月12日（金）（必着）
第２次募集	令和６年10月７日（月）～10月11日（金）（必着）
第３次募集	令和６年12月17日（火）～12月23日（月）（必着）

〈持参の場合〉受付時間は，午前８時30分から午後５時まで。土・日曜日の受付は行いません。

〈郵送（書留速達に限る）の場合〉出願期間内に必着とします。

（２）出願書類等（①②⑤⑨⑩⑪は，本要項に添付の所定用紙を使用してください。）

①入　学　志　願　票	裏面（履歴書）も必ず記入してください。なお，**「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」**を所定欄に確実に貼ってください。**（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）**
②受 験 票 ・ 写 真 票	写真（出願日前３か月以内に撮影した，縦４㎝×横３㎝，上半身，無帽，正面向きのもので，受験時に眼鏡を使用する者は，眼鏡をかけて撮影してください）をそれぞれに貼ってください。
③卒　業　証　明　書 又は卒業見込証明書	出身大学（学部）長が作成したものとします。
④成　績　証　明　書	出身大学（学部）長が作成し厳封したものとします。 大学院研究科修士（博士前期）課程修了者は，学部在籍時の成績証明書を提出してください。
⑤志　望　理　由　書	必要事項を記入してください。
⑥在留カードの写し又は パスポートの写し ※該当者のみ	外国籍を有する者は，在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし，渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。
⑦学 位 授 与 証 明 書 ※該当者のみ	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出してください。
⑧短期大学又は高等専門学校の専攻科の修了（見込み）証明書及び学士の学位授与申請書の受理証明書（又は学	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者は，提出してください。（７ページの「２．出願資格」（２）の，授与される見込みの者） 専攻科の修了（見込み）証明書及び学位授与申請予定の証明書は，出身（在籍）短期大学長又は高等専門学校長が作成したものを提出

士の学位授与を大学改革支援・学位授与機構に申請予定である旨の証明書） ※該当者のみ	してください。 学位授与申請書の受理証明書は，大学改革支援・学位授与機構が証明したものを提出してください。
⑨返　信　用　封　筒	封筒には，志願者の郵便番号，住所及び氏名を記入してください。 「受験票在中」の小封筒には郵便切手 354 円分を貼ってください。 「合格通知書在中」の小封筒及び「入学手続書類在中」の大封筒には郵便切手を貼る必要はありません。 ※郵便料金に変更があった際は，適正な金額の郵便切手を貼ってください。
⑩検　　定　　料 30,000 円	本要項に添付の**「振込依頼書（新潟大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」**に必要事項を記入し，以下の点に留意のうえ，切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し，窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際，**必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。** なお，振込手数料は，志願者本人の負担となります。 ①　依頼人氏名欄は，必ず志願者本人の氏名を記入してください。 ②　検定料の振込みは，下記の期間内に必ず行ってください。 （※土・日曜日及び祝日の振込みはできません。） **第 1 次募集** 令和 6 年 7 月 1 日（月）から 7 月 12 日（金）〔15 時 00 分〕 **第 2 次募集** 令和 6 年 10 月 1 日（火）から 10 月 11 日（金）〔15 時 00 分〕 **第 3 次募集** 令和 6 年 12 月 13 日（金）から 12 月 23 日（月）〔15 時 00 分〕 ③　ＡＴＭ（現金自動預払機）での振込みはできません。
⑪検定料納付証明書 （新潟大学提出用）	**金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を入学志願票の所定欄に貼ってください。** （※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）

（3）出願方法

上記①～⑨及び⑪の出願書類を郵送（書留速達）又は持参してください。

なお，郵送の場合は，本要項に添付の指定封筒（「大学院修士課程出願書類在中」）を使用してください。

（4）提　出　先　　新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係

（〒951－8510　新潟市中央区旭町通１番町 757 番地）

注１．提出後の出願書類の内容変更は認めません。

注２．既納の検定料及び出願書類は，返還しません。

ただし，検定料払込み後，出願期間内に出願書類を提出しなかった場合は，当該検定料（30,000 円）を返還します。

検定料の返還については，下記をご参照ください。

https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/return-fee/

なお，返還対象となった日から 5 年以内に返還の申し出がない場合は，返還請求を辞退

したものとさせていただきます。

注３．卒業証明書等に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は，改氏名の事実を確認できる書類（戸籍抄本等・コピーでも可）をあわせて提出してください。

注４．出願書類③及び④の証明書の印は，個人印・社印ではなく，大学長・学部長等の，職を表す印に限ります。

４．選　抜　方　法

入学者の選抜は，外国語科目，面接の結果及び出願書類を総合して行います。

（1）試 験 日 時

期　　日	時　　間	科　　目　　等
第１次募集 令和６年８月 16 日（金）	10:00 ～ 11：30	外国語（英　語） （辞書持ち込み可）
第２次募集 令和６年 11 月７日（木）	13:00 ～	面接（第１志望）
第３次募集 令和７年１月 21 日（火）	14:00 ～	面接（第２志望）

＊外国語（英語）は辞書（英和・和英・英英）の持ち込みを可とします。ただし，電子辞書及び医学辞書は不可とします。

（2）試 験 場

新潟大学医学部　（新潟市中央区旭町通１番町 757 番地）

（3）合 格 発 表

第１次募集	令和６年９月 12 日（木）午前 10 時
第２次募集	令和６年 12 月 17 日（火）午前 10 時
第３次募集	令和７年３月 13 日（木）午前 10 時

医学部医学科大講義室前に合格者の受験番号を医学科ホームページで発表すると同時に，合格者には，合格通知書を郵送します。

なお，電話での合否に関する問い合わせには，一切応じません。

５．出願資格の確認又は審査

「２．出願資格（３），（４），（６）又は（９）～（11）」のいずれかに該当する者は，個別に資格確認又は審査を行うので，申請受付期間に申請書類を提出してください。

（1）申請受付期間

第１次募集	令和６年６月５日（水）～6 月 14 日（金）
第２次募集	令和６年９月４日（水）～9 月 13 日（金）
第３次募集	令和６年 11 月６日（水）～11 月 15 日（金）

〈持参の場合〉受付時間は，午前８時 30 分から午後５時まで。土・日曜日の受付は行いません。

〈郵送の場合〉申請受付期間内に必着とします。

（2）「2．出願資格（3），（4）又は（9）～（11）」の申　請　書　類（①及び④の研究業績調書は，本要項に添付の所定用紙を使用してください。）

①出願資格確認・審査申請書	必要事項を記入してください。
②最終学歴に関する証明書	卒業（修了）証明書，成績証明書（短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科を卒業（修了）した者は，短期大学又は高等専門学校の卒業（修了）証明書，成績証明書を併せて提出してください。）
③最終学歴の学校に関する資料	入学資格，卒業（修了）要件，修業年限が記載されている資料（学則・規程，学生便覧等の写し）を提出してください。（出願資格（9）～（11）に該当する者のみ）
④その他学修・研究に関する資料	科目等履修生等で学修した者は，科目等履修生等の成績証明書等を提出してください。また，研究業績がある者は，研究業績調書及び論文の別刷又は写し等内容が確認できる資料を提出してください。（出願資格（9）～（11）に該当する者のみ）
⑤在学期間証明書又は退学証明書	中途退学者は，出身大学（学部）長が作成したものを提出してください。（出願資格（9）～（11）該当する者のみ）
⑥在留カードの写し又はパスポートの写し ※該当者のみ	外国籍を有する者は，在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。ただし，渡日前等により提出できない場合はパスポートの写し（氏名等が記載されているページ）を提出してください。
⑦返　信　用　封　筒	封筒（長形３号）に志願者の郵便番号，住所及び氏名を明記し，郵便切手 354 円分を貼ってください。 ※郵便料金に変更があった際は，適正な金額の郵便切手を貼ってください。

※「2．出願資格（6）」の申請書類は，入試・臨床実習係から指示しますので，「7．その他」の問い合わせ先に連絡してください。

（3）提　出　先　　新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係
（〒951－8510　新潟市中央区旭町通１番町 757 番地）

注１．提出後の申請書類の内容変更は認めません。また，申請書類は返還しません。
注２．外国語で記載された書類には，日本語の訳文を添付してください。

（4）出願資格の確認又は審査
確認又は審査は，提出された申請書類により行います。

（5）確認又は審査の結果通知
結果は，確認又は審査終了後すみやかに申請者宛に通知します。

6．入　学　手　続

入学手続期間

第１次募集	令和７年２月 26 日（水）～2 月 28 日（金）（必着）
第２次募集	
第３次募集	令和７年３月 18 日（火）～3 月 19 日（水）（必着）

郵送又は持参してください。郵送の場合は，書留速達とし，持参の場合は午前８時 30 分から午後５時までとします。

入学手続きに必要な提出書類等の詳細については，合格者に別途通知します。

７．そ　の　他

出願手続後，現住所又は連絡先に変更が生じた時は，すみやかに入試・臨床実習係に連絡してください。

＜問い合わせ先＞
〒951－8510　新潟市中央区旭町通１番町 757 番地
新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係
電話（025）227－2015

Ⅲ. For International Students

This is the English translation of the Japanese Application Guide.
The official version is the Japanese Application Guide.

First application: Admission in October 2024 (general entrance examination)
Admission for April 2025 (general entrance examination)
Secondary application: Admission for April 2025 (general entrance examination)
If program capacity is reached after the first round of applications, then the second round of applications will not be solicited.
Tertiary application: Admission for April 2025 (general entrance examination)
If program capacity is reached after the first and second rounds of applications, then the third round of applications will not be solicited.

(Note) Please check the following website for the availability of the second and third rounds of applications.
https://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/target/graduate_school/master_course/index.html

1. Course and enrollment limits

First application	**Admission in October 2024 (general entrance examination)**	**Master Course for Biomedical Sciences: a few students**
	Admission for April 2025 (general entrance examination)	**Master Course for Biomedical Sciences: 20**
Secondary application	**Admission for April 2025 (general entrance examination)**	**Master Course for Biomedical Sciences: a few students**
Tertiary application	**Admission for April 2025 (general entrance examination)**	**Master Course for Biomedical Sciences: a few students**

(Note) When applying, please contact in advance the faculty member in charge of your desired education and research field. Niigata University uses “Inquiry Form” to help students find a prospective supervisor. Please provide us with your information from the following URL:
https://www.intl.niigata-u.ac.jp/inquiry-form/

2. Eligibility for application

[First application: Admission in October 2024 (general entrance examination)]
Persons who fall under any of the following:

(1) Persons who have graduated from university (four or more years of study) prescribed in the Article 83 of the School Education Act (No. 26 of 1947) and persons who expect to graduate by September 2024
(2) Persons who have a bachelor’s degree based on the provisions of the School Education Act, Article 104-7, and persons who expect to have by September 2024
(3) Persons who have completed 16 years study of school education in a country other than Japan and persons who expect to complete by September 2024
(4) Persons who have completed 16 years educational curriculum of a country other than Japan by taking a correspondence course provided by a school of that country in Japan, and persons who expect to complete by September 2024
(5) Persons who have completed a course of university study in Japan that is conducted at an educational institution of a country other than Japan (and only who have completed 16 years study of school education in the country) and recognized as being part of the educational system

of the country, and that is specifically designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology

(6) Persons who have been granted a degree equivalent to a bachelor's degree by completing a course with a minimum term of study of three years or more at a foreign university or other foreign school (This shall be limited to cases where the overall situation of the educational and research activities, etc. has been evaluated by a person who has obtained certification from the government of said foreign country or relevant organizations, or cases where the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology separately has designated as equivalent thereto) (including completion of a course in Japan in correspondence courses offered by a school in said foreign country, and completion of the course at an educational institution recognized as being part of the educational system of the country and that is specifically designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), and persons who are expected to be granted such by September 2024

(7) Persons who have completed a specialized course of study at a vocational college (limited to those satisfying the requirement that the term of study is four years or more and other standards specified by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology) designated specifically by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology on or after the day designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, or who are expected to complete the course by September 2024

(8) Persons who have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (Public Notice of the Ministry of Education No. 5 of 1953)

(9) Persons who have been admitted to a graduate school pursuant to the provisions of Article 102-2 in the School Education Act, and who are subsequently recognized by the Graduate School as having scholastic ability suitable for receiving education at a graduate level

(10) As of September 30, 2024, persons who have been enrolled at a university prescribed in Article 83 of the School Education Act for at least three years (including persons designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology as equivalent persons), and who are recognized as having acquired the credits prescribed by the Graduate School with excellent results

(11) Persons who are recognized by the Graduate School of Medical and Dental Sciences through individual screening of eligibility for application as having scholastic ability equivalent to or higher than that of university graduates, and who will reach 22 years of age by September 30, 2024

[First application: admission for April 2025 (general entrance examination), secondary application: admission for April 2025 (general entrance examination), tertiary application: admission for April 2025 (general entrance examination)]

Persons who fall under any of the following:

(1) Persons who have graduated from university (four or more years of study) prescribed in the Article 83 of the School Education Act (No. 26 of 1947) and persons who expect to graduate by March 2025

(2) Persons who have a bachelor’s degree based on the provisions of the School Education Act, Article 104-7, and persons who expect to have by March 2025

(3) Persons who have completed 16 years study of school education in a country other than Japan and persons who expect to complete by March 2025

(4) Persons who have completed 16 years educational curriculum of a country other than Japan by taking a correspondence course provided by a school of that country in Japan, and persons who expect to complete by March 2025

(5) Persons who have completed a course of university study in Japan that is conducted at an educational institution of a country other than Japan (and only who have completed 16 years study of school education in the country) and recognized as being part of the educational system of the country, and that is specifically designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology

(6) Persons who have been granted a degree equivalent to a bachelor's degree by completing a course with a minimum term of study of three years or more at a foreign university or other foreign school (This shall be limited to cases where the overall situation of the educational and research activities, etc. has been evaluated by a person who has obtained certification from the government of said foreign country or relevant organizations, or cases where the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology separately has designated as equivalent thereto) (including completion of a course in Japan in correspondence courses offered by a school in said foreign country, and completion of the course at an educational institution recognized as being part of the educational system of the country and that is specifically designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), and persons who are expected to be granted such by March 2025

(7) Persons who have completed a specialized course of study at a vocational college (limited to those satisfying the requirement that the term of study is four years or more and other standards specified by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology) designated specifically by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology on or after the day designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, or who are expected to complete the course by March 2025

(8) Persons who have been designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (Public Notice of the Ministry of Education No. 5 of 1953)

(9) Persons who have been admitted to a graduate school pursuant to the provisions of Article 102-2 in the School Education Act, and who are subsequently recognized by the Graduate School as having scholastic ability suitable for receiving education at a graduate level

(10) As of March 31, 2025, persons who have been enrolled at a university prescribed in Article 83 of the School Education Act for at least three years (including persons designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology as equivalent persons), and who are recognized as having acquired the credits prescribed by the Graduate School with excellent results

(11) Persons who are recognized by the Graduate School of Medical and Dental Sciences through individual screening of eligibility for application as having scholastic ability equivalent to or higher than that of university graduates, and who will reach 22 years of age by March 31, 2025

Note 1. Persons who fall under any of requirements (3), (4), (6), or (9) to (11) in eligibility for application will be individually confirmed. Please submit the application documents during the application acceptance period, referring to “5. Confirmation of screening of eligibility”.

Note 2. Persons with disabilities who require special attention for the entrance examinations and study should consult with the Academic Affairs Division by the following deadlines:

First application	**Admission in October 2024 (general entrance examination)**	**Friday, June 14, 2024**
	Admission for April 2025 (general entrance examination)	
Secondary application	**Admission for April 2025 (general entrance examination)**	**Friday, September 13, 2024**
Tertiary application	**Admission for April 2025 (general entrance examination)**	**Friday, November 15, 2024**

3. Application procedures

(1) Admission procedure period

First application	**Admission in October 2024 (general entrance examination)**	**Monday, July 8 - Friday, July 12, 2024 (applications must arrive within this period)**
	Admission for April 2025 (general entrance examination)	
Secondary application	**Admission for April 2025 (general entrance examination)**	**Monday, October 7 - Friday, October 11, 2024 (applications must arrive within this period)**
Tertiary application	**Admission for April 2025 (general entrance examination)**	**Tuesday, December 17 - Monday, December 23, 2024 (applications must arrive within this period)**

<If bringing in person> Reception hours are from 8:30 a.m. to 5:00 p.m. We do not accept applications on Saturdays and Sundays.

<If mailing (limited to registered express mail> Applications must arrive within the application period.

(2) Application documents (Use the designated form attached to this application guidebook for (i), (ii), (v), (ix), (x), and (xi).)

(i) Admission application form	Be sure to fill in the reverse side (curriculum vitae). Be sure to affix **the examination fee payment certificate (for submission to Niigata University)** to the designated area. **(*Make sure that the receipt stamp of the financial institution is affixed.)**
(ii) Examination card, photograph card	Attach your picture (photographs taken within three months prior to the filing date of the application; should show you from the waist up, in a front-facing pose, hatless, be 4 cm long by 3 cm wide, and should be taken with eyeglasses on if you are wearing eyeglasses during the examination) to each card.
(iii) Certificate of graduation or certificate of expected graduation	It shall be prepared by the president of the university (faculty) from which you graduated.

(iv) Academic transcript	It shall be prepared by the president of the university (faculty) from which you graduated, and be sealed. Persons who have completed a master's degree in the Graduate School (doctoral first semester) must submit an academic transcript as an undergraduate.
(v) Statement of reasons for application	Fill in the necessary information.
(vi) A copy of residence card or a copy of passport	Submit a copy of your residence card (front and back). However, if you are unable to submit your residence card due to reasons such as it is before your coming to Japan, please submit a copy of your passport (page with name, etc.).
(vii) Certificate of diploma *Only applicable persons	Only persons who have received a bachelor's degree from the National Institution for the Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education should submit this certificate.
(viii) A certificate of (expected) completion of a major course at a junior college or a technical college and a certificate of acceptance of an application for the granting of a bachelor's degree (or a certificate of the application for the granting of a bachelor’s degree which is scheduled to be submitted to the Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education) *Only applicable persons	Only persons who are expected to receive a bachelor's degree from the National Institution for the Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education should submit this certificate. (Persons who are expected to receive in (2) of “2. Eligibility for application”) Submit the certificate of (expected) completion of a major course and a certificate of the application for the granting of a bachelor’s degree which is scheduled to be submitted prepared by the president of the junior college president or the principal of the technical college from which you graduated (or in which you are). Submit a certificate of acceptance of an application for the granting of a bachelor's degree that has been certified by the Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education.
(ix) Return envelope	Write your zip code, address, and name on the envelope. Affix 354 yen worth of postage stamps onto the long envelope containing the examination card. It is not necessary to affix postage stamps onto nor the long envelope containing the admission letter or the square envelope containing the admission procedure documents.

(x) Examination fee 30,000 yen	Complete the required areas in **the Transfer Request Form (Entrance examination Fee for the Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences [Master Course for Biomedical Sciences]), Transfer Money and Transfer Fee Receipt (Retained by the Applicant), Certificate of Payment of examination Fee (for submission to Niigata University)** attached to this guideline. Give due consideration to the following, take the form to a financial institution excluding Japan Post Bank (Yucho) without detaching the receipt and the certificate from the form, and pay the examination fee at the bank counter. **Be sure to have the receipt stamp of the financial institution affixed.** Applicants are required to bear the cost of the transfer fee. (i) The applicant's name must be entered in the payer's name column. (ii) Transfer of the examination fee must be made within the following periods: (*You cannot transfer money on Saturdays, Sundays, or national holidays.) **First application: Admission in October 2024 (general entrance examination), Admission for April 2025 (general entrance examination)** Monday, July 1 - Friday, July 12 (3:00 p.m.), 2024 **Secondary application: Admission in April 2025 (general entrance examination)** Tuesday, October 1 - Friday, October 11 (3:00 p.m.), 2024 **Tertiary application: Admission in April 2024 (general entrance examination)** Friday, December 13 - Monday, December 23 (3:00 p.m.), 2024 (iii) You cannot make a transfer at an ATM (automated teller machine).
(xi) Examination fee payment certificate (for submission to Niigata University)	**Affix the examination fee payment certificate (for submission to Niigata University) received at the bank to the designated area on the admission application form.** (*Make sure that the receipt stamp of the financial institution is affixed.)

(3) Application procedure

Send application documents mentioned in (i) to (ix) and (xi) above by mail (registered express) or bring them with you.

Use the designated envelope (Application documents for master's program in graduate school) attached to this guideline when mailing.

(4) Submitted to

Academic Affairs Division, Niigata University School of Medicine Faculty of Medicine

(757 Ichibancho, Asahimachi-dori, Chuo-ku, Niigata City, 951-8510)

Note 1. Changes in the contents of application documents after submission are not permitted.

Note 2. Examination fees already paid will be not refunded and application documents will not be returned.

However, if the application documents are not submitted within the application period after the payment of the examination fee, it (30,000 yen) will be refunded.

For information on the refund of examination fees, please refer to the following website.

https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/return-fee/

If you do not request a refund within 5 years of the date you became eligible for the refund, we will assume that you have declined the request.

Note 3: If your current name is different from the name on the certificate of graduation, please submit a document that confirms the fact that you changed your name such as an abstract of family register (a copy is acceptable).

Note 4: The seal for the certificates in application documents (iii) and (ix) shall not be personal or company seals, but only be the seal indicating the position of the president of the university or faculty, etc.

4. Method of selection

The selection of new students will be made by integrating the results of foreign language courses, interviews, and application documents.

(1) Examination schedule

Due date	Time	Subjects
First application: Admission in October 2024 (general entrance examination), admission in April 2025 (general entrance examination) Friday, August 16, 2024 **Secondary application: Admission in April 2025 (general entrance examination)** Thursday, November 7, 2024 **Tertiary application: Admission in April 2025 (general entrance examination)** Tuesday, January 21, 2025	10:00-11:30 a.m.	Foreign language (English) (Dictionaries may be brought in.)
	1:00 p.m.-	Interview (first choice)
	2:00 p.m.-	Interview (second choice)

* English-Japanese dictionary, Japanese-English dictionary and English-English dictionary are allowed to bring in for the foreign language (English). However, digital dictionaries and medical dictionaries cannot be used.

(2) Test site

Niigata University School of Medicine (757 Ichibancho, Asahimachi-dori, Chuo-ku, Niigata City)

(3) Result announcement

First application	**Admission in October 2024 (general entrance examination)**	**Thursday, September 12, 2024,** 10:00 a.m.
	Admission for April 2025 (general entrance examination)	
Secondary application	**Admission for April 2025 (general entrance examination)**	**Tuesday, December 17, 2024,** 10:00 a.m.
Tertiary application	**Admission for April 2025 (general entrance examination)**	**Thursday, March 13, 2025,** 10:00 a.m.

The examinee numbers of successful applicants will be announced on the School of Medicine Faculty of Medicine's website, and admission letters will also be issued to successful applicants by mail.
We will not respond to any telephone inquiries regarding acceptance or rejection.

5. Confirmation or screening of eligibility

Persons who fall under any of requirements (3), (4), (6), or (9) to (11) in "2. Eligibility for application" will be individually confirmed. Please submit the application documents during the application acceptance period.

(1) Application acceptance period

First application	**Admission in October 2024 (general entrance examination)**	**Wednesday, June 5 - Friday, June 14, 2024**
	Admission for April 2025 (general entrance examination)	
Secondary application	**Admission for April 2025 (general entrance examination)**	**Wednesday, September 4 - Friday, September 13, 2024**
Tertiary application	**Admission for April 2025 (general entrance examination)**	**Wednesday, November 6 - Friday, November 15, 2024**

<If bringing in person> Reception hours are from 8:30 a.m. to 5:00 p.m. We do not accept applications on Saturdays and Sundays.
<If mailing> Applications must arrive within the application acceptance period.

(2) Documents for (3), (4), or (9)-(11) in "2. Eligibility for application" (Use the designated form attached to this application guidebook for (i) and (iv).)

(i) Confirmation and screening of eligibility for application	Fill in the necessary information.
(ii) Certificate of the highest academic background	Graduation (completion) certificate, academic transcript (persons who have graduated from [completed] a major course at a junior college or a technical college must also submit a graduation [completion] certificate and an academic transcript of the junior college or technical college.)
(iii) Information about the school with the highest academic background	Submit materials describing the requirements for admission, graduation (completion), and term of study (copies of school regulations, rules, student handbooks, etc.). (Only persons who fall under the requirements of (9) to (11))

(iv) Other materials related to study and research	Persons who have studied as non-degree students are required to submit an academic transcript of your academic record. In addition, persons who have research achievements are required to submit documentation that conforms the content such as the research achievement report and reprints or copies of the thesis. (Only persons who fall under the requirements of (9) to (11))
(v) Certificate of period of enrollment or certificate of withdrawal	If you withdrew before completion of your studies, please submit the document prepared by the president of the university (faculty) which you attended. (Only persons who fall under the requirements of (9) to (11))
(vi) A copy of residence card or a copy of passport	Submit a copy of your residence card (front and back). However, if you are unable to submit your residence card due to reasons such as it is before your coming to Japan, please submit a copy of your passport (page with name).
(vii) Return envelope	Write the applicant's zip code, address, and name on the envelope (Nagagata No. 3) and affix a postage stamp worth 354 yen.

***Application documents for (6) in "2. Eligibility for application" will be directed by the Academic Affairs Division, so please use the contact information for "7. Other".**

(3) Submitted to the Academic Affairs Division, Niigata University School of Medicine Faculty of Medicine
(757 Ichibancho, Asahimachi-dori, Chuo-ku, Niigata City, 951-8510)
Note 1. Changes in the contents of application documents after submission are not permitted. Application documents will not be returned.
Note 2. Please attach Japanese translations to documents written in foreign languages.

(4) Confirmation or screening of eligibility
Eligibility or examination of application will be conducted based on the submitted application documents.

(5) Notification of results of confirmation or examination
The applicant will be notified of the results as soon as confirmation or examination is completed.

6. Admission procedure

Admission procedure period

First application	**Admission in October 2024 (general entrance examination)**	**Wednesday, September 18 - Friday, September 20, 2024 (applications must arrive within this period)**
First application	**Admission for April 2025 (general entrance examination)**	**Wednesday, February 26 - Friday, February 28, 2025 (applications must arrive within this period)**
Secondary application	**Admission for April 2025 (general entrance examination)**	
Tertiary application	**Admission for April 2025 (general entrance examination)**	**Tuesday, March 18 - Wednesday, March 19, 2025 (applications must arrive within this period)**

Send it by mail or bring it with you. If you send it by mail, it should be registered express mail, and if you bring it with you, reception hours are from 8:30 a.m. to 5:00 p.m.
Detailed information about the documents for submission required for the admission procedure will be notified to successful applicants.

7. Other

If your current address or contact address changes after the application process, please contact the Academic Affairs Division immediately.

<Contact information>
757 Ichibancho, Asahimachi-dori, Chuo-ku, Niigata City, 951-8510
Academic Affairs Division, Niigata University School of Medicine Faculty of Medicine
Telephone: (025) 227-2015

Ⅳ.　新潟大学大学院医歯学総合研究科
医科学専攻（修士課程）案内

新潟大学大学院医歯学総合研究科
医科学専攻（修士課程）案内

１．修業年限

修士課程　　標準修業年限２年

２．履修方法

本研究科において２年以上在学し，研究指導を受け，必修科目 30 単位の修得を要します。

３．学位授与

本研究科に２年以上在学し，所定の単位を修得し，かつ必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査及び最終試験に合格した者に修士（医科学，英訳：Master of Biomedical Science）を授与します。

４．入学料及び授業料

（１）入　学　料　　282,000 円（予定額）
（２）授　業　料　　（前期分）267,900 円（後期分）267,900 円（年額 535,800 円）（予定額）
（注）在学中に授業料改定が行われた場合は，改定時より新授業料が適用されます。

５．入学料免除

次の（１）～（３）に該当する者のうち，入学手続期間内に所定の申請を行った者については，選考の上，入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

（１）　経済的理由により入学料の納付が著しく困難であり，かつ，学業優秀と認められる者
（２）　入学前１年以内において，本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し，又は本学に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，入学料の納付が著しく困難であると認められる者
（３）　上記に準ずる場合であって，相当の事由があると認められる者

６．授業料免除

次の（１）～（３）に該当する者のうち，入学後，所定期間内に申請を行った者については，選考の上，学期（前期・後期）ごとに授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

（１）　経済的理由により納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者
（２）　授業料の当該期の納期前６か月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は，入学前１年以内）又は納期中に，学生の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し，又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け，納付が著しく困難であると認められる者
（３）　上記に準ずる場合であって，学長が相当と認める事由がある者

７．奨 学 金 制 度（外国人留学生を除く。）

日本学生支援機構には，学業・人物ともに優れた学生で経済的理由のため修学困難であると認められる者に対し，奨学金を貸与する制度があります。その貸与月額は，下記のとおりです。

この奨学金は，本人の申請に基づき，学業成績，研究能力及び経済的事情を審査し，選考の上，適格者を日本学生支援機構に推薦し，決定されるものです。

貸与月額（令和５年度の場合）
第一種　50,000 円，88,000 円から選択
第二種　５万円，８万円，10 万円，13 万円，15 万円から選択

Niigata University Graduate School of Medical and Dental Sciences.
Master Course for Biomedical Sciences Guidance

1. Term of Study

Master's Program: two years (at least)

2. Requirement for completion

The student is required to register for at least two years in this course, receive the guidance for research of medical science, and to master thirty units of the compulsory subjects.

3. Presentation of Diplomas

Niigata University confers the degree of Master of Biomedical Science on the student satisfying the above conditions (see Section 2) and passing both his/her thesis for master and graduation examination.

4. Fees

(1) Entrance Fee: ¥282,000 (estimated)
(2) Tuition Fee: ¥535,800 per year (estimated)

5. Exemption and Reduction of Entrance Fee

The student can be exempted from the total or one-half of entrance fee upon our selection if one applies at the entrance procedures. One of the following conditions must be satisfied:

(1) The student who has serious financial difficulties and excellent academic records.
(2) The student who has serious difficulties to pay the entrance fee because the person who bears school expenses, i.e., the guarantor dies, or because the student oneself or the guarantor suffers a disaster within a year prior to the entrance.
(3) Applicants deemed by the University as having circumstances or reasons comparable to those mentioned above.

6. Exemption and Reduction of Tuition Fee

The student can be exempted from the total or one-half of tuition fee upon our selection if one applies after the entrance. One of the following conditions must be satisfied

(1) The student who has serious financial difficulties and excellent academic records.

(2) The student who has serious financial difficulties to pay the tuition fee because the person who bears school expenses, i.e., the guarantor dies, or because the student oneself or the guarantor suffers a disaster within half year prior to the date of payment of tuition fee (in case of new students; within a year prior to the entrance.)

(3) Applicants deemed by the University as having circumstances or reasons comparable to those mentioned above.

○　「教育方法の特例」〔大学院設置基準（昭和 49 年文部省令第 28 号）第 14 条に定める教育方法の特例〕による教育について

医療・保健・福祉施設，教育研究機関，官公庁，企業等において活躍中の社会人が本研究科で学ぶ場合，２年間完全に勤務を離れ学業に専念することになりますが，このような就学条件を満たすことは一般的に難しいことです。

そこで，このような社会人学生に対しては，大学院設置基準第 14 条の「大学院の課程においては，教育上特別の必要があると認められる場合には，夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」の規定に基づき，教育方法の特例を実施します。

この特例により，学生は，それぞれの研究テーマに応じ，指導教員と協議の上，通常の授業形態のほか，夜間講義や週末又は夏期等の休業期間における集中講義等による単位修得の便宜を受けて研究を継続させ，修士論文を作成することができます。

○　長期にわたる教育課程の履修について

この制度は，学生が職業を有しているなどの理由により，標準修業年限（２年）を超えて上限２年まで，計画的に教育課程を履修し，修了することができる制度です。

入学時に申請し認められた場合の授業料は，正規の修業年限の期間の２年間分でよいことになります。

新潟大学大学院医歯学総合研究科

医科学専攻（修士課程）教育研究分野一覧

＊　e-mail は，「niigata-u.ac.jp」の表記を，Tel は「025（市外局番）－227（局番）」の表記を省略しています。（連携大学院を除く。）

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
解剖学 Tel：2045	佐藤　昇 nsato@med.	・末梢神経系の解剖学とその形成に関する研究 ・遺伝子改変動物モデルを用いた中枢神経系の機能解剖学 ・形態形成における比較解剖学とその進化的考察 ・生体への遺伝子導入法の開発・改良
脳機能形態学 Tel：2053	竹林　浩秀 takebaya@med.	・神経系の発生・生後発達の神経生物学的研究 ・神経幹細胞から特異的ニューロン・グリア細胞を産み出すメカニズムの解析 ・RNA 制御を介した神経系細胞機能の解析 ・再生医学による神経難病克服を目指した基礎研究 ・神経変性疾患モデル動物の病態解析
組織学 Tel：2058	芝田　晋介 shibatas@med.	当教室は光学顕微鏡や電子顕微鏡などの様々な顕微鏡を駆使し組織や細胞、分子の新規イメージング技術の開発を行っています。出身分野は問いませんが、以下の様々なテーマの中から自らの興味や知的好奇心を追究する熱意のある希望者を歓迎します。 ・様々な細胞や組織の構造機能解析とイメージング ・中枢神経系や末梢神経系の組織再生や機能回復を促す治療法や人工神経の開発 ・神経の活動を電子顕微鏡で捉える新規のイメージング法の開発 ・アルツハイマー病などの神経変性疾患に伴う組織学的な変化を可視化する新しいイメージング法の開発 ・癌の浸潤などに伴って生じる痛みの発生メカニズム解明プロジェクト ・ヒトがヒトらしい知性を獲得できたメカニズムの解明を目指した研究 ・腸管運動不全を来す疾患のメカニズム解析 ・神経幹細胞の維持機構の解明プロジェクト ・光学顕微鏡や電子顕微鏡などの各種の顕微鏡技法を組み合わせた細胞および組織構造解析 ・コンピュータを用いた新規画像解析法の開発

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
神経生理学 Tel：2068	長谷川　功 isaohasegawa@med.	ヒトの知性が脳のはたらきによりもたらされる機序を，霊長類動物モデルを中心に実験的に検証することを目指します。脳に網をかけるように電極を張りめぐらせる皮質脳波法と呼ばれるアプローチで，動物実験，工学，手術など多様な分野の技術を学びます。バックグラウンドは問わず,『知性をもたらす』脳の謎に挑もうとする熱意のある人を歓迎します。研究テーマは次のとおりです。 ・視覚認知/イメージ/記憶の大脳メカニズム ・文字言語の大脳メカニズム ・社会認知に関わる脳回路の動態 ・脳回路を操作する光/化学遺伝学的手法の開発
発達生理学 Tel：2071	杉山　清佳 sugiyama@med.	こどもの脳に作られた神経回路は、情動や行動の基盤になります。発達期の豊富な経験は、回路の形成を促す一方、偏った経験は回路の誤配線を招き精神疾患の一因にもなります。研究室では、回路を柔軟に形成する仕組みを明らかにすることで、発達障害や精神疾患への応用をはかっていきます。 ・脳の発達を制御する遺伝子群の発見 ・経験が個性的な神経回路を形成する仕組みの研究 ・動物の行動と情動の基盤となる回路の可視化の研究 ・動物の行動と情動を解析する画像認識システムの開発 ・こどもの柔軟な回路形成を大人で再現する方法の探索
オミクス生物学 Tel：2077	松本　雅記 masakim@med.	タンパク質はあらゆる生命現象に関わる重要な機能素子です。私たちの研究室では、タンパク質の発現量や翻訳後修飾、さらにはタンパク質間相互作用などを網羅的かつ定量的に計測する様々な技術を開発し、がんなどの疾患の研究への応用を行っています。 ・オミクス技術によるがんや老化の分子基盤に関する研究 ・タンパク質動態制御機構に関する研究 ・マルチオミクス計測によるシステム生物学的研究 ・タンパク質化学やプロテオミクスにおける技術開発
分子細胞機能学 Tel：2084	問合せ先 准教授　中津　史 nakatsu@med.	当研究室では、以下の研究テーマについて、分子・細胞・個体レベルの研究を行っています。 ・神経成長・再生とシナプス形成に関与する生化学的研究 ・脂質の代謝と輸送に関する生化学的研究 ・脂質による炎症性シグナル、ウイルス感染や神経成長の制御機構とその疾患の研究 ・脂質を中心とした蛍光イメージングや光操作法の開発

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
薬理学 Tel：2087	平島　正則 masanori@med.	脈管系の発生とそれらの異常で生じる病態について、遺伝子変異マウスを用いて研究しています。 ・リンパ管発生の分子機構に関する研究 ・リンパ管パターンに影響を与える血管由来因子に関する研究 ・胎児疾患モデルマウスの作製とその病態に関する研究 ・脈管の性質変化がもたらす病態の悪性化に関する研究
分子病理学 Tel：2106	問合せ先 助教　高田　尚良 ktakata@med.	・がん細胞とがん制御遺伝子の分子病理学研究 ・悪性腫瘍の病理組織学的研究 ・新規病理診断技術の開発研究 ・ナノ制がん医療技術の開発研究
細菌学 Tel：2050	松本　壮吉 sohkichi@med.	抗酸菌症など、年単位の治療が必要で、健康被害と人命損失を招いている難治性細菌感染症の制御をめざし、「ワクチン」、「治療薬」、「診断薬」の開発を行っています。また細菌を使って生物の基本原理、例えば細胞の長寿メカニズムの探索や解明等を行っています。 ・細菌の病原性や生命現象の解明 ・感染病原体に対する体をまもるしくみ（免疫）の解析 ・難病に対するワクチン、治療薬、診断薬の開発 ・アジアやアフリカにおける感染症の調査と国際協力
ウイルス学 Tel：2115	阿部　隆之 atakayu@med.	ウイルスと感染宿主細胞の相互作用の観点から、ウイルス複製機構及び病原性発症機構を明らかにする研究を行なっています。具体的には下記の研究テーマを行なっています。 ・肝炎ウイルスの複製機構と病原性発症機序の解析 ・新型コロナウイルスの自然免疫応答の解析 ・小児パレコウイルスの病原性発症機序の解析 ・ヘルペスウイルス感染の複製機構の解析 ・神経変性疾患に対する USP10 の機能解析
社会・環境医学 Tel：2124	中村　和利 kazun@med.	加齢性疾患の予防医学研究を行っています。具体的には下記のテーマの研究が現在行われています。 ・認知症，骨粗鬆症性骨折，膝関節症，身体機能低下，サルコペニア，慢性疼痛の大規模疫学研究（村上コホート研究） ・認知症予防のためのオミックス研究（尿プロテオミクス研究など） ・ビタミン D，カルシウムなどの疾病予防効果を解明する栄養疫学研究

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
国際保健学 Tel：2129	齋藤　玲子 jasmine@med.	日本やミャンマーでどのような新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）や，インフルエンザウイルス，RS ウイルスが流行しているのか調べています。 ・インフルエンザウイルス感染症の治療効果，ウイルスの検出（ウイルス分離・培養，PCR），進化の解析（遺伝子解析），薬剤耐性インフルエンザの検出（薬剤感受性試験） ・新型コロナウイルス感染症(SARS CoV-2)の分子疫学 ・RS ウイルス感染症の分子疫学 ・インフルエンザや新型コロナワクチンの予防効果 ・感染症疫学や感染症モデリング ・新興再興感染症研究基盤創生事業「ミャンマーにおけるインフルエンザ様疾患と小児の髄膜脳炎の研究」
免疫・医動物学 Tel：2133	片貝　智哉 katakai@med.	・マウスを用いた免疫細胞と機能分子の解析 ・リンパ節や脾臓を中心とした免疫組織の構造と機能 ・免疫組織のストローマ細胞の性質と機能 ・生体イメージングを用いた免疫細胞の動態解析 ・自己免疫疾患やアレルギー疾患、感染免疫応答における免疫細胞と組織環境 ・抗癌免疫応答における組織環境と免疫細胞動態 ・非病原性発酵微生物（麹菌、酵母、乳酸菌）に対する免疫応答
法医学 Tel：2146	高塚　尚和 houi@med.	・法医病理学 ・法医画像診断学 ・法医中毒学 ・臨床法医学（子どもの虐待とネグレクト） ・歯科法医学 ・法医同位体学 ・死因究明に関係する法律学 上記の教育・研究内容は，「死因究明に係る高度専門職業人育成プログラム」の一環として実施します。
機能制御学		※今年度募集なし
腎分子病態学 Tel：2160	問合せ先 准教授　福住　好恭 fukusumi@med.	研究内容 ・腎臓の解剖生理学 ・腎疾患の病理診断法 ・腎疾患モデル動物の作成法 ・腎固有細胞の培養法 ・慢性腎臓病の発症・進行メカニズムの解明

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
		・慢性腎臓病の新規治療法・診断法の開発 ・腎臓病と他臓器疾患発症との共通メカニズムの解明 ・腎臓の濾過ユニットである糸球体の発生，成熟機構の解明 ・糸球体の濾過機能の異常により起こる蛋白尿の発症メカニズムの解明 ・腎局所におけるレニン・アンジオテンシン系の機能，病態形成における役割の解明 ＊当分野は,医歯学総合研究科附属腎研究センターに属する分野で腎臓病克服に向けた基礎研究を行っている。 教育方針 腎臓分野での研究を通じ，研究倫理，実験法の基礎，実験結果の分析法などを指導する。また学会発表，論文発表法の指導を行い，２年間で研究者としての基盤ができるように教育する。
医学教育学 Tel:0832	岡崎　史子 fokazaki@med.	医療者教育に関する様々な研究を行っています。 ・コミュニケーション能力の獲得について ・プロフェッショナルアイデンティティ形成について ・早期体験実習の学びについてなど テーマの設定からご相談にのりますので、ご連絡ください。
循環器内科学 Tel：2182	猪又　孝元 inotaka@med.	・動脈硬化症疾患に関する基礎・臨床研究 ・不整脈の発症機序と治療に関する基礎・臨床研究 ・心不全の発症と進展に関する基礎・臨床研究 ・循環器疾患予防と心臓リハビリテーション
血液・内分泌・代謝内科学 Tel：025-368-9026	曽根　博仁 sone@med.	・医療系はもちろん，理工系，農学系，文系などの学部専攻分野を活かした，生活習慣（食事，食品，運動，喫煙，飲酒など），生活習慣病（糖尿病，高血圧など）動脈硬化疾患（心臓病，脳卒中），悪性腫瘍（白血病，悪性リンパ腫など）に関する健康増進，医療に役立つ研究をしたい方を募集しています。 ・臨床検査技師，薬剤師，管理栄養士，理学療法士，看護師，保健師，健康運動指導士含む体育学部出身者，臨床心理士含む心理学，教育学，生物学，数学・統計学・情報学・工学，経済学など多様な専門背景を活かした，患者さんに役立つ研究が可能です。 ・たとえば予防・予測（医療ビッグデータやゲノムデータの解析，人工知能 AI）や心理面も含む全身治療（例：食事・運動モチベーション，運動による予防・治療，患者教育），健康食品，医療経済，生活習慣病（エネル

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
		ギー代謝，炎症など）や腫瘍（遺伝子異常，幹細胞，免疫療法，分子標的療法など）の細胞分子生物学的メカニズムの解明など，研究テーマについては希望に応じて幅広く対応可能なのでメールでご相談ください。 ・細胞治療認定管理師，臨床培養士などの受験資格も取得可能です。
腎・膠原病内科学 Tel：2193	問合せ先 准教授　後藤　眞 gotos@med.	・腎疾患・高血圧に関する研究 ・原発性糸球体腎炎に関する研究 ・糖尿病・メタボリック症候群に関する研究 ・糖尿病性腎症の発症と進行に関する研究 ・腎不全の治療に関する研究 ・腎不全に伴う貧血の研究 ・腎機能低下に伴う骨・ミネラル代謝異常の研究 ・リウマチ・膠原病・アレルギー疾患に関する研究 ・免疫不全と感染症に関する研究
呼吸器･感染症内科学 臨床感染制御学 Tel：025-368-9321	菊地　利明 kikuchi@med.	・肺がん幹細胞を標的とした新規治療法の開発 ・肺がん化学療法時の腎障害予測因子の開発 ・気管支喘息の舌下免疫療法の開発 ・抗インターフェロンγ自己抗体の臨床的解析 ・炎症性肺疾患における元素分析 ・抗ミトコンドリア抗体と呼吸不全との関連解析 ・非結核性抗酸菌症の分子疫学的解析
消化器内科学 肝臓病学 Tel：2202	寺井　崇二 terais@med.	・消化器疾患に対する修復再生療法の開発研究 ・消化器疾患に対する遺伝子治療に関する研究 ・消化器疾患の進展における免疫学的関与に関する研究 ・消化器癌の病態生理に関する研究 ・消化器疾患の代謝炎症の関する研究 ・消化・吸収・代謝制御に関する研究 ・栄養・サルコペニアに関する研究 ・腸内細菌と生体制御に関する研究 ・消化管運動，血流に関する研究 ・消化器疾患の内視鏡学診断，治療に関する研究 ・生体材料（バイオマテリアル）の臨床応用に関する研究 ・消化器疾患に関する尿プロテオミクス研究 ・ヘリコバクター・ピロリ関連胃病変に関する研究 ・ウイルス性肝炎の治療法に関する研究 ・胆道，膵悪性腫瘍の遺伝子診断に関する研究 ・Undiagnosed disease に関する研究 ・Exosome に関する研究

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
分子精神医学 精神医学 Tel：2212	問合せ先 准教授　江川　純 jeg5414@med.	・「こころの理論」を担う神経回路の解析 ・培養神経細胞の神経突起・シナプス発達を表現型に用いた自閉スペクトラム症リスク遺伝子の機能解析 ・脳磁図を用いた自閉スペクトラム症の脳病態研究 ・統合失調症や自閉スペクトラム症の分子遺伝研究 ・向精神薬の効果や副作用に関するゲノム薬理研究 ・治療抵抗性うつ病のバイオマーカーに関する臨床薬理研究 ・周産期うつ病の心理社会的因子およびバイオマーカーに関する周産期メンタルヘルス研究
小児科学 小児保健学 Tel：2222	齋藤　昭彦 asaitoh@med.	・新生児・未熟児の発達生理に関する研究 ・小児腎疾患に関する研究 ・分子生物学的研究（悪性腫瘍，循環器，腎，内分泌，感染症など） ・小児生活習慣病に関する研究 ・小児感染症，特にウイルス感染症に関する研究
腫瘍外科学 消化器・一般外科学 Tel：2228	若井　俊文 wakait@med.	・腫瘍外科学 ・外科代謝・栄養学 ・肝移植・膵移植と免疫学 ・癌特異的蛋白質に関する研究 ・細胞の不死化と腫瘍形成に関する研究 ・癌の浸潤能および転移能に関する研究 ・蛍光免疫染色を用いた DNA 損傷修復の解明 ・抗癌剤耐性機序の解明 ・がんゲノム医療 ・ロボット支援下手術 ・人工知能 AI 開発 ・癌と腸内細菌叢に関する研究
呼吸循環外科学 Tel：2242	問合せ先 准教授　白石　修一 sshuichi@med.	・肺癌の臨床病理学的研究 ・心臓外科における機能評価解析 ・血管疾患の分子・病理学的研究 ・外科治療と血液凝固異常の研究 ・心臓・肺移植の基礎研究 ・補助人工心臓の研究
整形外科学 リハビリテーション医学 Tel：2272	川島　寛之 inskawa@med.	・運動器の修復・再生に関する研究 ・骨・関節のバイオメカニクスの研究 ・脊椎・脊髄疾患の病態と治療の研究 ・手の外科の研究 ・骨・軟部腫瘍の研究

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
		・関節リウマチの病態と治療の研究 ・運動器リハビリテーションと QOL の研究 ・骨粗鬆症，骨代謝に関する研究 ・生活設計，生活支援に関する研究 ・スポーツ医学に関する研究 ・四肢，骨盤，脊椎・脊髄の外傷に関する研究 ・小児運動器疾患に関する研究
形成・再建外科学 Tel：2593	松田　　健 matsuken@med.	・微小外科の研究 ・四肢再建外科の研究 ・頭頸部再建の研究 ・末梢神経再生の研究 ・顎顔面外科の研究 ・唇裂・口蓋裂の研究 ・胸壁・乳房再建の研究 ・同種組織移植の研究
小児外科学 Tel：2258	木下　義晶 kinoppy@med.	・新生児外科疾患に関する研究 ・小児内視鏡外科に関する研究 ・小児固形悪性腫瘍に関する研究 ・小児泌尿器外科疾患に関する研究 ・小児先天性呼吸器疾患に関する研究 ・小児肝胆膵疾患に関する研究 ・小児外科代謝栄養に関する研究 ・小児鼠径部疾患に関する研究
皮膚科学 Tel：2282	阿部　理一郎 aberi@med.	・重症薬疹の研究 ・細胞死の研究 ・皮膚マイクロバイオーム研究 ・毛組織関連遺伝子発現の研究 ・皮膚遺伝性疾患の研究 現在、M.D.以外の研究員も在籍しており、修士課程も含めて幅広い人材を募集しています。また、上記研究に関わらず、個々の興味のある研究を行うことが可能です。
腎・泌尿器病態学 分子腫瘍学 Tel：2285	問合せ先 准教授　齋藤　和英 kazsaito@med.	・腎の構造と機能 ・泌尿器科学一般 ・泌尿生殖器腫瘍の基礎と分子生物学 ・泌尿生殖器腫瘍の治療 ・泌尿器生理学と神経学 ・尿路形成手術 ・泌尿器科内視鏡学

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
		・アンドロロジー ・腎移植と腎機能再建
眼科学 Tel：2296	問合せ先 准教授　赤木　忠道 akagi@med.	・緑内障の病態解明と新規治療法開発に関する研究 ・緑内障，網膜硝子体疾患のイメージングに関する研究 ・眼科手術学とレーザー治療に関する研究 ・眼感染症と化学療法，眼薬理学 ・眼病理学，腫瘍学 ・神経眼科学 ・小児眼科学 ・視覚機能とＱＯＬに関する研究 ・緑内障患者のロービジョンケアに関する研究
耳鼻咽喉・頭頸部外科学 Tel：2303	堀井　　新 ahorii@med.	・平衡神経科学 ・神経耳科学 ・側頭骨外科学 ・鼻科学 ・口腔咽頭科学 ・音声言語学 ・頭頸部外科学 ・頭蓋底外科学 ・喉頭・気管・食道科学
腫瘍放射線医学 機能画像医学 Tel：2315	石川　浩志 iskw@med.	・放射線診断学 ・放射線腫瘍学 ・医学物理学
生殖器官制御 生殖医学病態解析 Tel：2317	吉原　弘祐 yoshikou@med.	・HPV ワクチンの有効性と安全性の検証 ・婦人科がん幹細胞の同定と臨床応用 ・マルチオミックス解析に基づいた婦人科癌の病態解明と新規治療法の開発 ・正常子宮内膜のゲノム異常に注目した子宮内膜関連疾患の病態解明 ・産婦人科領域の 3 次元病理学の確立 ・胎盤の 3 次元構造解析および空間的トランスクリプトーム解析による周産期疾患の病態解明
麻酔科学 Tel：2323	馬場　　洋 baba@med.	・麻酔薬の作用メカニズム ・急性痛のメカニズムと術中術後痛管理 ・神経障害性痛のメカニズムと治療法 ・臨床神経生理・神経病理（術中神経系モニタリング） ・臨床呼吸循環生理（術中呼吸循環モニタリング）

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
救命救急医学 Tel：2338	西山　慶 keinishi@med.	・救急医療体制に関する臨床研究 ・蘇生に関する研究 ・救急集中治療および災害医療における看護、リハビリテーション、栄養療法、薬剤管理法の開発に関する研究
腫瘍内科学		※今年度募集なし
分子・診断病理学 分子・病態病理学 Tel：2093	大橋　瑠子 riuko@med.	・がんの臨床病理学・分子病理学・病理診断技術に関する研究 ・がんの発生・発育進展様式に関する病理学的研究 ・がんの悪性度診断の精度向上に関する研究 ・炎症・代謝性疾患の臨床病理学・分子病理学 ・デジタルパソロジー・病理 AI に関する研究 ・マルチオミクス病理データベース構築と解析手法に関する研究
生殖医学病態解析 Tel：2320	西島　浩二 kojigyne@med.	・超音波診断を用いた胎児の生理・病理の解明 ・モデルマウスを用いた妊娠高血圧症候群の病態解明 ・正常胎盤・異常胎盤の 3 次元構造解析 ・早産児の消化管保護に関する研究 ・不育症と免疫関連疾患に関する研究
薬剤評価学 Tel：2782	外山　　聡 toyama@med.	・薬物投与設計（オーダーメイドの薬物治療を含む） ・薬剤経済学 ・薬物治療とリスクマネジメント（副作用および有害事象を含む）
情報科学・統計学		※今年度募集なし
臨床研究・レギュラトリーサイエンス学 Tel：2331	冨田　善彦 問合せ先 准教授　田中　基嗣 mototsugu-tanaka@med.	・医薬品医療機器等の薬事規制や医療政策に関する研究 ・医薬品医療機器等の開発促進及び承認審査に関する研究／ドラッグラグに関する研究 ・臨床研究における有効性及び安全性の評価尺度に関する研究 ・臨床研究のデザイン、実施、評価、報告の適切性に関する研究 ・リアルワールドデータに基づく医薬品適正使用に関する研究
トランスレーショナルリサーチ 臨床免疫学		※今年度募集なし

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
総合診療医学 Tel：0718	上村　顕也 kenya-k@med.	・卒前教育・臨床研修教育における「総合的な診療能力」向上のためのカリキュラムに関する研究 ・リカレント教育における「総合的な診療能力」向上のための制度構築に関する調査研究 ・デジタル技術を用いた遠隔診療、シミュレータを用いた医学教育に関する研究 ・地域課題を把握し、解決するための研究 ・地域社会需要に基づく医療を他/多職種と協働して提供するための研究
分子神経生物学		※今年度募集なし
神経病理学 Tel：0673	柿田　明美 kakita@bri.	・剖検による脳神経疾患の臨床病理学的研究 ・ひと脳標本を用いた神経精神疾患（脳腫瘍、てんかん原性病巣、神経変性疾患、神経免疫疾患、発生発達期脳障害）の病態病理学的研究
脳神経外科学 Tel：0650	大石　誠 mac.oishi@bri.	・脳機能温存の研究 ・脳機能再構築の研究 ・脳卒中後の機能回復メカニズムの研究 ・機能的脳疾患の病態・治療 ・脳腫瘍の病態・治療 ・脳血管障害の病態・治療
脳神経内科学 Tel：0663	小野寺　理 onodera@bri. 問合せ先 准教授　金澤　雅人 masa2@bri.	・認知症、ALS 等の神経難病の病態と治療 ・脳血管障害の病態と治療 ・免疫性神経筋疾患の病態と治療 ・多彩なモデル動物を利用した神経難病の病態解明 ・脳神経回路の再編，再生に関する研究
脳機能解析学 Tel：0680	問合せ先 生体磁気共鳴学分野 准教授 伊藤　浩介 itoh@bri.	・機能的磁気共鳴画像法を用いたヒト脳高次機能の研究 ・磁気共鳴分光法を用いたヒト脳代謝の研究 ・拡散磁気共鳴画像を用いたヒト脳の微細構造の研究
生体磁気共鳴学 Tel：0680	問合せ先 准教授　伊藤　浩介 itoh@bri.	・核磁気共鳴法を用いた脳の水動態の研究 ・磁気共鳴分光法を用いた脳代謝の研究 ・核磁気共鳴や脳波によるヒトや動物の脳機能の研究
臨床機能脳神経学 Tel：2274	島田　斉 shimada.hitoshi@bri.	当分野では、陽電子放射断層撮像法(PET)と核磁気共鳴法(MRI)を駆使して、下記のようなヒト生体脳機能イメージング研究を行います。 ・精神神経疾患の脳病態解明研究

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
		・脳環境恒常性機構に関する研究 ・神経変性疾患の創薬促進に資するバイオマーカー開発研究 認知症やパーキンソン病関連疾患などの神経変性疾患を主たる研究対象としておりますが、その病態基盤に脳内異常蓄積たんぱくの関与が示唆されている精神神経疾患や、加齢脳についても研究対象となります。
神経病因遺伝学 Tel：2343	池内　　健 ikeuchi@bri.	認知症のトランスレーショナル研究 ・認知症のゲノム解析 ・認知症のバイオマーカー開発 ・認知症のバイオバンク構築 ・認知症の臨床研究
		認定遺伝カウンセラー認定養成プログラム 人類遺伝学、遺伝医学、分子生物学等に関する講義を受け、医歯学総合病院・遺伝医療センターにおいて遺伝カウンセリングの陪席や臨床実習を行います。臨床遺伝に関する基本的な知識・技術・態度を習得し、認定遺伝カウンセラーの資格取得を目指します。
神経機能・発生・生殖工学 Tel：2163	動物資源開発研究分野 笹岡　俊邦 sasaoka@bri. モデル動物開発分野 准教授　阿部　学 manabu@bri. Tel：0621	基礎医学研究においてモデル動物として有用な遺伝子改変動物を作製し、行動学、生化学、組織学、生理学的解析などを行います。また、国内外の研究者との高次脳機能解明に関する共同研究も多数行っており、研究を通して最新の脳神経科学、分子生物学や生殖・発生工学に関する知識と技術を習得することができます。 ・疾患モデル動物の作製と遺伝子改変技術の開発 ・生殖補助医療等にも応用可能な生殖・発生工学技術開発 ・遺伝子改変動物を用いた脳機能分子の生理機能解析
分子神経疾患資源解析学		※今年度募集なし
細胞病態学 Tel：0926	三國　貴康 tmikuni@bri.	・生体脳でのゲノム編集技術の開発と応用 ・生体脳での分子イメージング技術の開発と応用 ・学習記憶の生理の分子レベルでの理解 ・発達障害の疾患モデルの迅速な作製 ・発達障害の病態の分子レベルでの理解 ＊当分野では、神経科学研究の発展に貢献する独自の技術を開発します。二光子顕微鏡や電気生理などの手法と組み合わせて、生体脳における「学習・記憶の生理」と「発達障害の病態」を分子レベルの解像度で理解す

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
		ることを目指します。卒業後の研究の場としては、国内だけではなく海外の研究室にも紹介可能です。
システム脳病態学	田井中 一貴 kztainaka@bri. Tel:0900	・透明化脳標本を用いた 3D イメージング技術 ・脳小血管病の 3D 画像に基づく病理学的解析 ・てんかん原性脳病巣の 3D 画像に基づく病理学的解析 ・神経変性疾患の 3D 画像に基づく病理学的解析
	上野　将紀 ms-ueno@bri. Tel:0684	・神経回路の発生、発達、可塑性のメカニズム ・運動や自律神経系の神経回路の接続や機能の研究 ・脳卒中や脊髄損傷での神経再生、再編、修復に関する研究 ・神経-免疫-臓器連関の病態の解明 複雑に入りくむ脳の神経回路が、どのように作られはたらくのか、その仕組みの理解を目指しています。また、脳や脊髄が障害された場合、どのように神経回路を再生し、機能を回復するか研究します。遺伝子改変動物やウィルス神経トレーサー、分子生物学、組織学、イメージング、光・化学遺伝学、行動学など、脳神経科学の多様な解析技術を組みあわせ研究します。
脳病態解析学 Tel：0646	松井　秀彰 hide0729@bri.	・研究室の方針: 難病を克服する-障害を支え合う-科学の歴史を刻む ・難病や老化の病態研究、病気の中で現在特に力を入れているのはパーキンソン病、アルツハイマー病、筋委縮性側索硬化症などの神経変性疾患です。 ・発達障害のメカニズム研究 ・製薬企業や食品メーカーとの共同研究 ・培養細胞、小型魚類、マウス、ヒト剖検脳など様々な研究対象を比較して、難病や老化の本質を知ろうとする点が特徴です。
災害医療 Tel：2033	センター長 佐藤　昇 nsato@med. 問合せ先 特任教授　高橋　昌 masashi@med.	・災害医学一般 ・災害時の情報管理学（ソフトウエア・ハードウエア） ・災害教育学（シミュレーション医学教育） ・心肺蘇生法の教育理論と教育成果判定に関する研究 ・災害医療の多職種・地域への普及に関する研究 ・災害時ロジスティクスに関する研究 ・災害薬事に関する研究 ・国際災害支援に関する研究

教育研究分野	指導教員（教授）	教育研究内容
バイオインフォーマティクス Tel：0390	奥田　修二郎 okd@med.	・腸内細菌叢のメタゲノムデータの解析手法の研究 ・腸内細菌叢の相互作用と疾患因子の関連についての研究 ・がんゲノムデータの解析手法の研究 ・リン酸化サイトの比較ゲノム研究 ・各種オミクスデータのデータベース構築 ・医療用人工知能の開発
教育研究分野	指導教員（准教授）	教育研究内容
腫瘍病態学		※今年度募集なし

連携大学院（以下の研究機関で研究を行い、新潟大学大学院医歯学総合研究科で学位を取得することが可能です。）

教育研究分野	指導教員（客員教授）	教育研究内容
経精神薬理学 Tel：03-6834-2390	池田　和隆 ikeda-kz@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・依存症のゲノム解析，行動薬理学的解析，臨床応用研究 ・疼痛脆弱性および鎮痛薬感受性のゲノム解析，行動薬理学的解析，テーラーメイド医療への応用 ・自閉症，AD/HD などの発達障害の行動薬理学的，分子生物学的研究 ・快・不快情動の分子メカニズム研究
分子遺伝学 Tel：03-5316-3311	吉川　欣亮 kikkawa-ys@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・哺乳類遺伝学を基盤としたヒト疾患の発症に関与する遺伝子群の同定と解析 ・ヒト疾患モデルマウスの樹立による個体レベルでの疾患発症機構の解明
神経工学 Tel：03-6834-2373	西村　幸男 nishimura-yk@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・人工神経接続による脳機能再建法の開発とその臨床応用 ・脳脊髄損傷後の機能回復メカニズムの解明 ・意欲・情動による身体運動制御の神経メカニズムの解明
小児脳病態学 Tel：03-6834-2358	佐久間　啓 sakuma-hs@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・ミクログリアの発達・分化の分子基盤 ・小児のウイルス関連急性脳症の病態解明 ・小児の自己免疫性脳炎の診断技術の開発
生物学的精神医学 Tel：03-6834-2380	新井　誠 arai-mk@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・統合失調症のゲノム、症例研究を基軸とする分子基盤の解明 ・統合失調症のバイオマーカー同定とその分子基盤の解明 ・マウス・細胞モデルを活用した統合失調症の分子基盤の解明 ・社会還元のための疾患層別化と個別化治療・早期支援法の開発
統合精神脳科学 Tel：03-6834-1779	糸川　昌成 itokawa-ms@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・精神・神経疾患の基礎的・臨床的研究 ・ヒトの精神・行動に関する基礎的・臨床的研究

教育研究分野	指導教員（客員教授）	教育研究内容
分子神経病理学 Tel：03-6834-2349	長谷川　成人 hasegawa-ms@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・神経変性疾患の発症・進行機構の解明 ・病態を再現する細胞・動物モデルの解析 ・神経変性疾患の診断マーカーの探索 ・神経変性疾患の根本的治療法の開発
脳神経発生学 Tel：03-6834-2367	丸山　千秋 maruyama-ck@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・マウスモデルを用いた脳形成メカニズム ・種間比較による脳発生の比較進化学的解析 ・脳形成異常の分子メカニズム解明 ・精神・神経疾患の基礎的研究
ゲノム科学 Tel：03-5316-3128	川路　英哉 kawaji-hd@igakuken.or.jp	（公財）東京都医学総合研究所 ・ゲノム機能領域の同定および機能解明 ・ゲノム機能・RNA 解析技術の開発 ・ゲノム科学的アプローチによる疾患研究およびバイオマーカー探索

教育研究内容についての詳細は，以下のホームページをご覧ください。

○新潟大学医学部医学科 HOME＞教育・研究活動紹介＞研究内容一覧
https://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/activity/research/index.html
○新潟大学医学部医学科 HOME＞概要（講座，教職員）http://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/summary/index.html
○新潟大学医学部医学科 HOME＞附属施設・関連施設
https://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/facility/index.html
○新潟大学医学部医学科 HOME＞大学院志望の方へ＞修士課程案内
https://www.med.niigata-u.ac.jp/contents/target/graduate_school/master_course/index.html

（注１）　志望する分野が決定している場合は，志望する研究分野の担当教員に必ず事前確認をしてください。教育研究分野により今年度は受け入れを行わない場合があります。
（注２）　第 2 志望がある場合は，第 2 志望分野の担当教員にも事前連絡をしてください。
（注３）　指導教員が不在の分野に志願する場合は，当該分野の問合せ先に相談してください。
（注４）　志望する分野が決められない場合は，下記の教員に相談してください。

○教育研究分野相談窓口
・片貝　智哉（免疫・医動物学分野）
　025-227-2133　katakai@med.niigata-u.ac.jp

不明な点は，新潟大学医学部医学科入試・臨床実習係までお問い合わせください。
Tel：025-227-2015　　E-mail：medgakum@med.niigata-u.ac.jp

V.　本研究科所定用紙